

研究会開催通知

(昭和51年11月1日～11月30日)

研究会	日 時		会 場	備 考
データ・ベース	11月11日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	下記参照
システム性能評価	11月12日(金)	14:00～17:00	同 上	同上
マン・マシン・システム	11月16日(火)	14:00～17:00	名大型計算機センター	同上
イメージ・プロセッシング	11月16日(火)	14:00～17:00	東工大	同上
医療情報処理	11月16日(火)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
コンピュータ・ネットワーク	11月24日(水)	14:00～17:00	同 上	同上

◆ 第17回 データ・ベース研究会 (主査: 西野博二, 代表幹事: 国井利泰)

日 時 51年11月11日(木) 午後2時～5時

会 場 機械振興会館 地下3階2号室

〔東京都港区芝公園3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅, 都営1号線大門駅, 都営6号線御成門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋-渋谷線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲口線飯倉1丁目下車, Tel. (03) 434-8211〕

議 題 (1) スパイアース (SPIRES) の2つの特徴的な機能
穂鷹良介 (SSL), 国井利泰 (東大・理)

〔概要〕 SPIRES はスタッフオード大学で開発されたデータベース・システムである。このシステムで採用された ACTION BNS と物理的データ構造について紹介する。

(2) MUMPS 言語とその実例について 大橋洋一 (大阪府立羽曳野病院)

〔概要〕 MUMPS 言語を解説し, データ・ベースの立場からその実用例を述べる。

(3) 汎用データベース・マネージメント・システムの性能評価システムの設計
米田 茂, 山口康隆, 吉田郁三 (日立 中研)

〔概要〕 DBMS を使用するユーザ・システムの事前性能評価を主目的に開発した性能評価モデルの構成機能について述べる。

◆ 第12回 システム性能評価研究会 (主査: 石田晴久, 代表幹事: 斎藤梅郎)

日 時 51年11月12日(金) 午後2時～5時

会 場 機械振興会館 6階65号室 [所在地は前記参照]

議 題 (1) ハードウェアモニタを使用した Dual システムの試験

阿江 勉, 安川克彦, 斎藤 薫 (電電), 三輪康絵, 牧野敏博 (日電)

〔概要〕 CPU を2台並列に運転するいわゆる Dual システムにおいて, 2台の CPU の同期, Dual から Single への状態遷移, Single から Dual への組込み等の制御に関するデバッブクは, タイミング的問題

を含むので、オンラインシステムでも特に困難なテストが必要である。本文では、ハードウェアモニタを使用して、これらの時間的トレースを行い、テスト、及び処理能力の評価に活用した例を論じる。

- (2) FTA の応用におけるマン・マシン・コンピュータシステムの信頼度評価 吉本英明（国鉄・鉄研）

〔概要〕 ハードウェア、ソフトウェア、人間要素が複雑にからみ合ったマン・マシン・コンピュータ・システムの信頼度評価に FTA (Fault Tree Analysis) を応用した試みを示す。

- (3) ソフトウェアの信頼性 田中勝洋（日本 IBM）

〔概要〕 ソフトウェアの信頼性向上のための開発時点での手法、及びソフトウェアエラーに対するディカバリーストランジングについて、IBM-M・V・S を例にとり解説する。

◆ 第 15 回 マン・マシン・システム研究会

(主査：大須賀節雄、代表幹事：飯田善久)

日 時 11月 16日（火）午後 2時～5時

会 場 名古屋大学 大型計算機センター

〔名古屋市千種区不老町、地下鉄：東山線本山駅下車、南へ徒歩 15 分、
Tel. (052) 781-5111〕

議 題 (1) 会話形連続系システム・シミュレータ

臼井支朗、浅見秀雄、池谷和夫（名大）

〔概要〕 グラフィックスを用いそのブロック・ダイアグラムを会話的に記述し、シミュレーションできる連続系システム・シミュレータを開発したのでその基本構造について報告する。

- (2) 自動プログラム相談システム CONS について 中川雅敏（名大）

〔概要〕 過去数年間のプログラム相談で得られた経験データを基に、自動プログラム相談システムを開発したが、その質問応答機能と問題点について報告する。

- (3) シソーラスを用いた研究室向き文献検索システム THEODORES

平松敏裕（名大）

〔概要〕 文献検索のみならず、環境学のような学際的な研究分野におけるシリーラスの作成を通しての学問体系の概念形成への応用。

◆ 第 9 回 イメージ・プロセッシング研究会

(主査：尾上守夫、代表幹事：長尾 真、白井康明)

日 時 昭和 51 年 11 月 16 日（火）午後 2 時～5 時

会 場 東京工科大学 中棟 2 号館会議室

〔東京都目黒区大岡山 2-12-1、東急電鉄目蒲線および田園都市線大岡山駅下車 Tel. (03) 726-111〕

議 題 (1) ディジタル画像の標準フォーマット

尾上守夫（東大、生研）、白井良明（電総研）

〔概要〕 イメージ・プロセッシング研究委員会で、各種画像データの交換のために作成した標準フォーマットを説明する。

(2) 構造線を中心とする画像処理について

榎本 肇, 片山卓也 (東工大・工)

〔概要〕 画像、曲面の構造線と画像とモデルとの関連性構造線システム、応用例などの概要を述べる。

◆第17回 医療情報処理研究会

(主査: 関原成允、代表幹事: 吉本千穂、飯坂譲二、上野晴樹、佐々木陽)

日 時 51年11月16日 (火) 午後2時~5時

会 場 機械振興会館 6館 65階号室

議 題 (1) ADABAS の概要 石井義興 (ビジネスコンサルタント)

〔概要〕 ADABAS は西独で開発された汎用 DBMS であり、処理効率や柔軟性の高さから注目されている。ADABAS の特徴、処理効率、データ独立性、データ構造/ファイル構造および言語機能などについて述べる。

(2) ADABAS の医療側からの評価 関原成允 (東大・医)

〔概要〕 ADABAS を医療に応用する立場に立って、利点や問題点を考察する。

◆第8回 コンピュータ・ネットワーク研究会

(主査: 猪瀬 博、代表幹事: 浅野正一郎)

日 時 51年11月24日 (水) 午後2時~5時

会 場 機械振興会館 6階 65号室 (前記参照)

議 題 ハイレベル伝送制御手順特集

(1) ハイレベルデータリンク制御手順の規定とその評価

高橋 修, 森野和好, 田島 孝, 苗村憲司, (電電・横通)

〔概要〕 ISO で検討中のハイレベルデータリンク制御 (HDLC) 手順の規約を詳細化して厳密に規定する方法と、シミュレーションによる評価方法を述べる。

(2) 問合せ応答処理における HDLC の性能

太田元助, 横尾次郎 (日立、システム開発研)

〔概要〕 HDLC を問合せ応答処理のポイント-ポイント、ポイント-マルチポイントを適用するにあたり、スケジューリング方法の検討並びに性能測定を行ったので報告する。

(3) 待ち行列モデルによる HDLC の解析

沼田一道, 水野忠則, 梶原 誠 (三菱電機)

〔概要〕 待ち行列モデルにより、ハイレベル伝送制御手順プログラムを解析したので、その特徴およびベーシック手順プログラムとの比較について述べる。

(4) 対等な機能を有する HDLC 形手順の検討

浅野正一郎, 片山泰祥, 猪瀬 博 (東大)

〔概要〕 対等な論理機能を有する制御装置間に適用し得る HDLC 形伝送制御手順の検討を行い、この性能測定を行ったので報告する。

「コンピュータ・システムの高信頼化」の予約受付について

前号本欄で予告いたしました「コンピュータ・システムの高信頼化」(B5版, 540ページ, 定価6,500円)が11月下旬に刊行されます。とくに本会会員には、**52年1月末まで**は**会員特価5,000円**でお預けいたします。また11月19日～21日に、本学会17回大会が慶應義塾大学日吉校舎で行われますので、当日会場でも発売する予定です。

なお、郵送希望の方は、下記申込用紙に必要事項を記入のうえ、郵送料300円を添えて学会事務局へ直接お申込みください。

-----切り取り線-----

昭和 年 月 日

購入申込書

「コンピュータ・システムの高信頼化」を下記によって申し込みます。(該当欄を○印でかこむ)

1. 氏名 _____ (会員、非会員)

連絡先 _____ 電話 _____

発送先 _____

2. 購入希望 会員 @ 5,000円× 冊= 円

非会員 @ 6,500円× 冊= 円

郵送希望の場合には送料(1冊300円、2冊以上は更に1冊につき100円を追加すること)

3. 送金の方法

計_____円也をつきによって送金いたします。

現金書留

郵便振替(払込口座: 東京 83484 宛)

銀行(三菱、第一勧業、住友の各虎ノ門支店、三井日比谷支店、宛)

4. その他(学会事務局への連絡事項)

「コンピュータ・ネットワーク最近の技術動向」 のテキスト頒布について

去る 9月 28日（火）に開催しました標記講習会で使用したテキスト（B5版 55ページ）の残部があります。定価 2,000円（送料込み）ですので、ご希望の方は、学会事務局へ直接お申込みください。

内容は、1) コンピュータ・ネットワーク最近の開発動向（野口正一），2) HOST-HOST およびハイレベル・プロトコルの動向（伊藤哲史），3) パケット交換網プロトコル（石野福弥），4) 公衆データ通信網（高月敏晴），5) 無線によるパケット通信（勅使河原可海）。

第 17 回全国大会参加と論文集の予約について

本年度全国大会は、既報の通り、11月 19~21 日に、前回同様に慶應義塾大学工学部で開かれます。プログラムと参加上の注意事項は、本号に掲載されていますのでご覧ください。

なお、論文集（約 1,000 ページ、予約価 3,500円、定価 4,500円）をご希望の方は、本誌前号（9月号）に添付の予約申込み書により**10月末日までにお申込みください。**（論文集は予約による限定印刷としますが、残部があるときは、当日会場でも頒布いたします。）